

全農地所有者にアンケートを実施、地区連での協議資料作り

京都府 精華町農業委員会 狛田・川西・山田荘各地区連絡会議

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員：	14人
○ 農地利用最適化推進委員：	5人
○ 事務局職員：	3人
○ 市町村行政との連携状況：	定期的に関係者による調整会議を開催予定

(写真)

2 地区の特徴、状況、課題

- (市町村の概要) 京都府の南西端に位置し、併せて日本そして近畿圏のなかで、ほぼ地理的中心に位置しています。
- (地区の概要) 西部と南部はなだらかな丘陵、東部には平坦な農地が広がり、東端には木津川が流れています。
- (地区の課題) 後継者問題や鳥獣被害等による荒廃地の増加



3 委員による継続した話し合いの取組内容

令和元年に各地区連絡会議で協議を重ね、地区ごとの様々な問題点の洗出しを行なった。

それをもとに各地区連絡会議のそれぞれの地域に協議に入る予定であったが、コロナの関係で令和2年に協議には入れてない

4 成果（京力農場プランの目標実現に向けた取組内容）

全農地所有者に各農地の現状及び今後の予定、また後継者問題等のアンケートを実施予定であったがコロナの関係で実施が遅れていたが、現在送付準備中。

アンケートの集計ができ次第、地図の作成や、地区連絡会議での課題解決に向けた具体的な協議などに繋げていきたい。